

2022年12月12日

低温工学・超電導学会 2022年度第4回材料研究会のご案内

大阪大学大学院工学研究科  
秋山 庸子  
宇都宮大学大学院工学研究科  
酒井 保蔵

震災から12年目を控え、福島をとりまく社会的状況や、必要とされる技術的ニーズは大きく変化してきています。特に、現在の福島では、福島第一原子力発電所の廃炉や廃棄物の最終処分に向けた動きとともに、再生可能エネルギー等の最先端の研究拠点ができ、脱炭素社会に向けて新たな段階に進もうとしています。そこで、原子力発電所の廃炉やそれに関わる廃棄物処理、そして再生可能エネルギーの利用拡大に関わる現場視察を行い、現在の福島の現状と求められる技術、その中で低温工学、超電導工学技術の位置づけに関する講演会を行います。多数のご参加をお待ちいたしております。

■テーマ：福島からみる日本のエネルギーの未来

～復興への道のりと再生可能エネルギーの最前線～

■日時：2023年3月3日（金）～4日（土）

■場所：見学会：特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま、福島水素エネルギー研究フィールド  
講演会：南相馬市民情報交流センターよりハイブリッド開催

(COVID-19の感染拡大状況により、オンラインまたはハイブリッド講演会のみで開催とし、見学会は中止とする可能性があります)

■参加費：無料（ただし見学会のお弁当代1,500円程度の実費はご負担いただきます。）

■宿泊：3月3日（金）の夜のご宿泊は原ノ町駅周辺で各自ご予約をお願いいたします。

■定員：見学会・講演会（現地参加）：定員 **25名**（先着順で定員に達した時点で締切ります）  
講演会（オンライン参加）：定員なし

■プログラム（予定）：

1日目（3月3日（金）） 見学会：

9：50 仙台空港集合 ⇒12：00-15：00 特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま（富岡町）  
⇒16：00-17：00 福島水素エネルギー研究フィールド（浪江町）  
⇒18：00頃 原ノ町駅

2日目（3月4日（土）） 講演会：南相馬市民情報交流センター（原ノ町駅すぐ）

9：30-12：30 廃棄物処理、新エネルギー関連の講演とディスカッション  
・岩谷産業(株) 岩谷水素技術研究所 辻上 博司様（水素エネルギー関連）  
・環境省 環境再生・資源循環局 西村 諒成様（除去土壌関連）  
・日本原子力研究開発機構 檜葉遠隔技術開発センター 加島洋一様（廃炉遠隔技術関連）

■申込方法：下記のフォームまたは右のQRコードにて **1月31日（火）** までにお申し込みください。

<https://forms.gle/8g6RtLRoibQGxW4j6>

※最新情報はこちらのHPをご覧ください。 <https://sites.google.com/view/fukushimatour2022/>

共催：低温工学・超電導学会 関西支部、大阪大学大学院工学研究科

お問い合わせ先：材料研究会 秋山 庸子（大阪大） E-mail：[yoko-ak@see.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:yoko-ak@see.eng.osaka-u.ac.jp)



↑お申込フォーム